

子ども(10歳以下)の自宅療養を安心して過ごすために(ver.2)



お子さんが新型コロナウイルス感染症と知らされ、ご不安に感じていることと思います。ご自宅でお子さんのお世話をするために、まずは保護者の方々がご自分の心と体を健やかに保つことが必要です。そのためにパンフレットを作成しましたので、ご活用ください。

子どもの新型コロナウイルス感染症は、成人に比べて軽症であることが知られています。自宅療養から重症化し入院になることは非常にまれで、ほとんどのお子さんが自宅療養で治っています。お子さんに対しては、保健所と各病院が連携して対応に当たりますので、ご安心ください。

よくあるご相談

◎これからこの子はどうなってしまうのでしょうか

子どもが感染しても重症化することはまれです。気を付けたほうがよい症状について下表を参考にしてください。状況によって保健所や県から状態を確認する連絡が入ります。必要に応じて医師や看護師が電話をかけるシステムもあります。また、万が一症状が悪化してきた場合は、いつでも病院へ相談することができます。

表：気を付けたほうがよい症状



表情・外見	<ul style="list-style-type: none">・顔色が悪い、唇が紫・いつもと様子が違う（笑わない、遊ばないなど）
呼吸	<ul style="list-style-type: none">・呼吸数が多い・横になれない、会話ができない
意識	<ul style="list-style-type: none">・ぼーっとしている・反応が乏しい
食事・水分	<ul style="list-style-type: none">・水分が摂れない・好きなものを食べない



◎子どもの状態が悪くなったら診てもらえるのですか

病院と保健所は連携していますので、必要に応じて受診、入院など、適切な医療を受けることができます。

◎養育者の体調が悪くなった時に、自分やこの子はどうなってしまうのですか

まずはご自分の療養に専念してください。その時にお子さんだけが取り残されることのないよう、保健所と病院間で協力して対応しますので、無理をせず、早めに相談してください。

◎保育園や幼稚園・学校にはいつから行っていいですか

目安として、症状が治まって72時間経過、かつ発症から10日を過ぎたら（無症状者は検査当日から7日）とされています。

